

東大、ネットで大学院講義 一般も自由に聴講

東大大学院情報学環は四日、インターネットを通じて修士課程の講義の一部を配信する実験サイト「iiionline (アイアイアイ・オンライン)」を四月から開設すると発表した。単位取得を目的に履修登録した学生だけでなく、ADSLなどのブロードバンド(高速ネット)が利用できれば一般の人でも自由に聴講することができる。

システム開発は文部科学省メディア教育開発センターが担当。サイトにアクセスすれば、浜田純一教授の「情報政策論」など四講義のビデオ録画と講義で使用了資料などを好きな時間に視聴できる。

履修登録した大学院生は、講義内容についてさらに議論するために特別に設置された電子掲示板などを使用する。一般聴講者からは電子メールなどで意見を聞くことを検討している。

ネット教育は米国に先進事例が多く、例えばマサチューセッツ工科大は、将来的にほとんどの講義内容をネットで無料公開するプロジェクトを進めている。

国内ではブロードバンドの普及が出遅れたこともあって、信州大が四月にネット受講を中心にした「インターネット大学院」を開設するなどようやく動きが出てきた段階だ。

浜田教授は「インターネットで講義を公開することで社会から反応を得ることができる。それを取り入れてさらに研究を発展させたい」と話している。

実験サイトのURLは<http://www.iii.u-tokyo.ac.jp/online/>

(共同通信)

[ニュース目次](#) | [ジャンル別](#) | [バックナンバー](#) | [お悔やみ\(京都・滋賀関係分\)](#) | [ホーム](#)